



大空 (たいくう)

令和元年度
第 8 号
1月 17日 (金)

「自分を本気で鍛え、さらなる高みに挑む」

校長 齋藤和哉

新年明けましておめでとうございます。

今年は暖冬で、めずらしく雪のない穏やかな正月を迎えられたことと思います。それでも、生徒たちはこの冬も部活動に、そして年末講習や3年生は年始講習を行うなど、それぞれの目標達成に向けて果敢にチャレンジしました。

この年末年始、部活動では3つの部が全国大会に挑みました。女子バスケットボール部のウィンターカップ（東京）、ラグビー部の花園大会（大阪）、そして年明けはサッカー部の選手権大会（東京）がありました。大会を振り返ると、女子バスケットボール部は1回戦、奈良文化高校に後半最後に大逆転での見事な勝利でした。2回戦は東京代表の明星学園高校、これも後半いいところまで追い込みましたが力及ばず敗れてしまいました。ラグビー花園大会の相手は全国常連校で昨年ベスト8にも入っている兵庫県代表の報徳学園高校、残念ながら大敗しましたが、それでも後半ワントライをあげ最後まで戦い抜いた姿は立派でした。そして、年明けのサッカーは東京北区にある西ヶ丘競技場で行われ、相手は愛媛代表の今治東中等教育学校、出だしはよかったです徐々に相手ペースにはまってしまい、これも残念ながら流れを変えられず敗れてしまいました。いずれも全国の壁は厚く上位に進出することはできませんでしたが、選手たちは最後まで果敢に挑み、精一杯戦ってくれたことをうれしく思います。ここまで頑張った3年生、そして、仲間のために応援にかけてくれた生徒諸君にも感謝したいと思います。

大事なことは、今回のこの敗戦を単なる結果だけで終わらせない……。つまりは、全国の経験を次にどう生かすか、ここがこれからの練習に向かう大事なポイントであり、1・2年生は次の戦いに向け、もう一度試合を振り返って何が足りないのか、どこが違うのか、どうすれば自分たちが全国のレベルで戦えるのか、しっかりと分析したうえで、次に向けた具体的なプランを立て、そこに努力を投入してく……。やはり山形中央高校は全国で戦う集団であってほしいと思うのです。

そこで、3学期の始業式では引退した野球のイチロー選手の言葉を引き合いに、「最終的には自分、自分自身を自分で鍛える。そうやって身に付けた力が本当の成長につながっていく。そういう時代に入ってきた。」そして、「今以上に自分を高め変えるため、自分の目標に“本気”で向かって努力しなさい」と激励しました。3年生はいよいよ目前に迫ったセンター試験（1/18～19）に向けて、正にラストスパート、最終目標に向かってしっかりと準備することです。必ず好結果が出ると信じています。

2年生・1年生は、来年度から始まる予定であった大学入学共通テストの英語民間試験や記述式の導入見直しなどがあって不安もあると思いますが、情報に惑わされることなく先生方の指示に従い、今のうちにしっかりと基礎固めをしてほしいと思います。この3学期は、あっという間に終わってしまいます。生徒の更なる成長を願って3学期始業式の式辞としました。

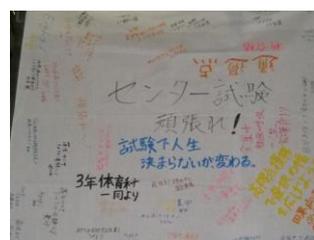
がんばれ 山形中央高生！！

2020年も飛躍ある年でありますように……。



◎いよいよセンター試験 ～感謝、そして挑戦～

3年生は女子バスケ・ラグビー・サッカー部の全国大会での善戦奮闘に刺激を受け、1月18・19日に行われる大学入試センター試験に向けて、全力で学習に励んできました。センター試験は大学入試に直結しますし、高校3年間の学習で何をどれだけ身につけてきたかを示す客観的なデータの一つになります。数々の問題演習や模擬試験を通して、得点力を向上させてきました。これまでの先生方のご指導やご家族のサポートに感謝の気持ちを持ち、自分を信じ、落ち着いて問題に向かって欲しいと思います。「現役生は受験当日の朝まで伸びる」 [3学年主任 樋口尚美]



激励絵馬と激励フラッグ(体育科生徒)←

◎最後まであきらめない粘り、強豪相手によく戦った！山形中央高校！

【ラグビーフットボール部】

第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場し、1回戦で報徳学園高校（兵庫県代表）と対戦しました。結果は5対162という大差で負けてしまいました。大会を通じ、全国の壁がとても厚いということを感じました。しかし、1トライとれたことや最後まで戦い抜いたことは、次につながる良い経験になったと思います。これまで支えて下さった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。 [3年 工藤翔]

【サッカー部】

山形中央は2回戦が初戦となり、愛媛代表の今治東中等教育学校と対戦しました。試合の立ち上がりは優勢に試合を進め得点に迫る惜しいシーンもありましたが、次第に相手にペースをつかまれ苦しい試合展開が続きました。県勢13年ぶりの白星の期待を背負い奮戦しましたが、最終的には力及ばず0-2で敗退しました。生徒たちは全国の舞台に立てたことを誇りに、これからの人生を歩んでくれるものと思います。物心両面にわたる温かいご支援とご声援を賜りました皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。 [顧問 羽角哲弘]

「ウインターカップ挑戦30回目にしての初出場」【女子バスケットボール部】

12月23日から都内2会場で行われた「Softbank ウインターカップ2019（令和元年度第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会）」に出場してきました。結果は1回戦で近畿ブロックの強豪奈良文化高校を接戦の末破り、次に過去ウインターカップで4度準優勝という名門校明星学園高校（東京）相手に健闘しましたが及ばず、2回戦敗退となりました。参加60校中僅か3校のエントリーメンバー数が埋まらないチームでしたが、本当によく戦ってくれました。たくさんのご声援ありがとうございました。 [顧問 茂木卓矢]



※各部のHPもどうぞご覧ください。